



からだにいいはなし

認知症のおはなし

今月は、アルツハイマー型認知症に多く見られる徘徊のおはなしをさせていただきます。

徘徊とは、無目的に歩きまわる行動で、徘徊している本人には何らかの理由が存在しているが、その目的を本人が説明出来なかったり、或いは歩き回っているうちに当初の目的を忘れてしまうために、周囲には歩き回る目的を理解してもらえません。

徘徊は色々な障害が原因で起こるといわれています。

見当識障害(場所・時間)

自分の住んでいる場所が解らなくなると自分の家であるのにも係わらず、自分の家を探したり、自分の家なのにトイレが解らなくなり徘徊してしまう。

記憶障害

物を置いた場所を忘れて探して歩き回る、そして、探しているうちに何を探していたか忘れてしまい、また、徘徊する。

認知障害(思考・判断力)

周囲の状況が理解出来ず、どのように行動してよいか判断がつかず歩き回り、不安そうに徘徊を続ける。

感情障害(気分・情動)

気分の高揚が徘徊の原因になったり、不安や緊張感、自分自身の状況について理解できないことも不安を強め、徘徊の原因になる。

また、一人だと不安が強まるので、一緒にいてくれる人を求めて徘徊するなどがあるようです。

四万十町国保大正診療所

山本洋・高芝俊二・大川剛史

わが町の高血圧の実態



四万十町では、40歳以上の方を対象に、特定健診(生活習慣病予防健診)を実施しています。平成22年度の実診結果をご紹介します。

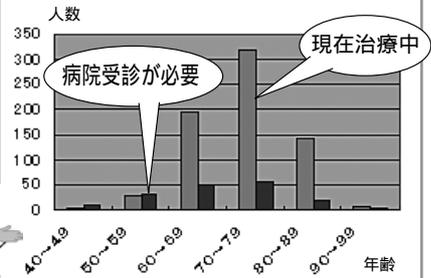
健診受診者の血圧のようす

通院治療を現在受けている方 31.0%
健診で治療が必要と判断された方 7.6%
約4割の方が、高血圧症で治療が必要な状況です。



若年層の受診者が少ない傾向にあります。
(40歳～60歳 健診受診者の18%)

働きざかりに段階的に増えています



医療費のかかっている病気順

75歳未満の人にかかる外来医療費
(生活習慣病に限定すると...)

- 1位 高血圧
- 2位 高脂血症
- 3位 糖尿病

(四万十町 国保 H23. 8月データより)

75歳以上の人にかかる外来医療費

- 1位 脳血管疾患
- 2位 高血圧性疾患
- 3位 心疾患

(後期高齢者医療 広域連合データより)

高血圧をそのままにしておくと、動脈硬化は着実に悪化します。動脈硬化で硬くもろくなった血管は、高い圧力に耐えられなくなり、血流が悪くなって破れたりします。その結果、脳梗塞や心筋梗塞、狭心症など生命にかかわるさまざまな病気を引き起こします。

高血圧

血管が傷つく

動脈硬化の進行

高血圧から起こる合併症

脳卒中

心疾患

腎不全



特定健診 3つのお得!

無料で受けられる!

(本町では、健診受診費用 6,000 ～ 9,000 円 / 人を全額負担しています)

自分の体を知れる絶好のチャンス!

(忙しい日々ですが、年1回立ち止まり、自分の体と話し合う機会にしてみませんか?)

自分の健康(将来像)を軌道修正できる良い機会です!

(いつまでも元気で、自分らしい人生を送りたいものです)



〔お問い合わせ先〕 健康福祉課 22-3115
大正総合支所 町民生活課 27-0112
十和総合支所 町民生活課 28-5112